

表紙写真説明

昨日の雪が木々に積もって美しい景色になりました。山間を流れる川の流れも清らかで凛とした冬の雰囲気を感じることができました。

(文) 撮影：管財・調達課 窪田 満
撮影地：八尾町 野積川

理念

『救療済生』の済生会精神に基づいて、「やさしさ・信頼・安心」の医療を実践します。

患者さんの権利

- 1 基本的人権
- 2 プライバシーを守る権利
- 3 適切な説明と情報を受ける権利
- 4 適切で最善な医療を受ける権利
- 5 説明に基づき医療行為を選択する権利

基本方針

- 1 患者さんと職員がともに満足する良質で安全な医療を提供します。
- 2 急性期から回復期までの総合的な医療を提供します。
- 3 医療・福祉の関係機関との連携を密にし、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
- 4 全人的医療を提供できる人材育成に努めます。
- 5 健全な経営基盤の確立に努めます。

令和6年能登半島地震における災害支援ナースとしての活動

石川県能登半島を震源とする M7.6 の令和 6 年能登半島地震。その被災地支援のため、1 月 15 日から 4 日間、災害支援ナースとして派遣要請があり、1.5 次避難所の「いしかわ総合スポーツセンター」で活動しました。この避難所では、奥能登 2 市 2 町の被災者を受け入れました。今回の任務は、災害関連死を未然に防ぎながら、2 次避難所へのマッチングを行うことです。

活動部隊は、全国から招集された約 20 以上の多職種で運営されています。1.5 次避難所は今回が初の試みであり、「医療の場」ではなく「生活の場」という視点で活動する必要があります。設立当初、運用方法は手探りの状態で、保健師から介入依頼のあった利用者に対し、医療や看護の必要性の判断を看護師が行い、専門職種と連携することへ困難を極めました。実地での活動を通じて、即席で結成されたチームで、指揮命令系統を確立し、迅速な他職種連携を行うことへの課題が浮彫となりました。また、富山県は災害が少ない県とされ、当院の被害は軽度でしたが、今後の対応を考えて行くきっかけにもなりました。被災地の 1 日も早い復興を祈っています。

クリティカルケア認定看護師 福井 達也



済生会小史

明治44年2月11日、明治天皇は、時の内閣総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広げるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜されました。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日に 済生会を創立しました。

今月の内容

- 令和6年能登半島地震における災害支援ナースとしての活動
- 買い物ついでにちょこっと健診、併せて「保健室」も
- フードドライブ事業を実施しました
- 外来待合ロビーで風景写真展
- 各種教室案内 等



買い物ついでにちょこっと健診、併せて「保健室」も

2月2日(金)、当院に隣接するイオンモール高岡に、気になる項目だけ検査を受けられる「ちょこっと健診」の券売機を設置、併せて毎週金曜には看護師が出向いて無料で健康相談ができる「まちかど保健室」を開設しました。

済生会高岡病院ではイオンモール高岡と相互連携し、これまでもイオンモールウォーキングなどを開催してきました。今回は、検査項目を絞ることで健診を受けるハードルを下げるとともに、多くの人が足を運ぶイオンモールに券売機を置くことで利便性を確保。より多くの人に、また日頃から健康について考える機会があまりない方に少しでも健康について考えていただく機会になればという思いから設置しました。

「ちょこっと健診」券売機は、イオンモール高岡東館2階のイオンホール前のエスカレーター近くにあり、発券から2カ月間有効となります。検査項目に応じてワンコイン 500 円の糖尿病や貧血などの血液検査から 3,500 円の大腸や胃、心臓、血管年齢のセットまで13種類を用意しており、検査は平日午後2～4時に済生会高岡病院2階ドック健診センターで受けることが可能です。

「まちかど保健室」は毎週金曜(祝日除く)の午後2～4時に券売機近くで開設しており、看護師が健診結果や医療機関の受診、生活習慣病などに関する相談に無料で応じます。日頃から気になることを気軽にお問い合わせください。



総務課 道前 久枝

【ちょこっと健診の流れ】

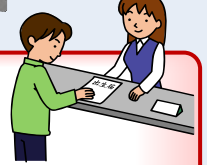
販売時間：イオンモール高岡の営業時間に準ずる
受付時間：平日 14～16時(祝日・年末年始を除く)

ちょこっと健診メニュー	検査条件	料金
1 糖尿病が気になる方 (血糖、ヘモグロビンA1c)	食後 2時間 経過後	500円
2 肝臓が気になる方 (AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GPT)		500円
3 脂肪(コレステロール)が気になる方 (総コレステロール、中性脂肪、HDL-C、LDL-C)	食後 2時間 経過後	500円
4 貧血が気になる方 (白血球、赤血球、Ht(ヘマトクリット)、Hb(ヘモグロビン)、血小板数)		500円
5 腎臓機能が気になる方 (血清クレアチン、血清尿素窒素、eGFR)		500円
6 痛風が気になる方 (尿酸)		500円
7 おしっこ(尿)が気になる方 (尿糖、尿蛋白、尿潜血)		500円
8 前立腺がんが気になる方 (PSA)		1,000円
9 大腸が気になる方 (便中ヒトヘモグロビン(2回法)) 検体を病院へ持参していただきます。		1,000円
10 胃のヒト菌感染が気になる方 (便中ヘリコバクター・ヒト菌) 検体を病院へ持参していただきます。		1,500円
11 心臓機能・血管年齢が気になる方 (BNP、ABI)		2,000円
12 セット① (糖尿・肝臓・脂肪・貧血・腎臓・痛風)	食後 2時間 経過後	2,500円
13 セット② (大腸・胃・心臓・血管年齢)		3,500円

イオンモール高岡内の
券売機で利用券を購入



済生会高岡病院 ドック健診
センター窓口で申込書を記入



・氏名・住所・電話番号・生年月日など

採血・採尿等の各種検査を実施
(一部、自宅で検査)



そのままご帰宅



約1～2週間で検査結果をご自宅に
郵送(検査項目による)



フードドライブ事業を実施しました

令和6年1月9日～31日にかけてフードドライブ事業を実施しました。職員から多くの食品寄付をつのり、いただいた物は、高岡市社会福祉協議会に寄付を行いました。随時生活困窮者やひとり親世帯などに配布される予定です。

当院ではフードドライブ事業を年2回企画しております。今後もなでしこプラン※の一環として定期的にフードドライブ事業を実施していきたいと考えておりますので、ご協力お願いいたします。

医療社会事業部



※生活困窮者支援事業 なでしこプラン

済生会は生活困窮者を支援する事業「なでしこプラン」を実施しています。ホームレスや家庭内暴力(DV)被害者、刑務所出所者、障害者、高齢者、在留外国人等で、医療・福祉サービスにアクセスできない人たちを対象に巡回健診、予防接種、健康相談等を行うものです。

社会福祉法人^{恩賜}財団済生会 ホームページより https://www.saiseikai.or.jp/about/nadesiko_plan/

外来待合ロビーで風景写真展

令和6年1月15日(月)から2月5日(月)の間、当院1階外来ロビーで日本風景写真協会富山第二支部の写真展が開催されました。4度目となる今回は、春夏秋冬、8点の作品展示が行われました。自然と対峙し日本ならではの四季折々、一瞬の美しい風景が見せる写真群に見学者の皆さまは癒しと元気をもらえた見応えのある写真展になったことと思います。

管財・調達課 窪田 満



3~4月

各種教室案内

◆マザリーズ◆

(育児サークル)

日時：第4金曜日10:00~11:30 お問い合わせ：産婦人科外来
場所：済生会高岡福祉・保育総合センター1階

人数を制限し、予約された方のみとさせていただきます。
産婦人科外来までお問い合わせください。



◆ファミリークラス◆

(両親学級)

日時：第1金曜日10:00~11:30 お問い合わせ：産婦人科外来
場所：済生会高岡福祉・保育総合センター1階

・準備するもの：母子手帳、動きやすい服装

人数を制限し、予約された方のみとさせていただきます。
産婦人科外来までお問い合わせください。

楽しく産んで育てよう



家族と一緒に自分らしいお産ができること、また楽しく母乳育児が出来ることを目指しています。

◆マタニティヨガ◆

新型コロナウイルスの影響を受け、
しばらくの間、開催を自粛させていただきます。



◆糖尿病教室◆

時間:15:00~

場所:8階 栄養相談室

3月 5日(火)、19日(火)

糖尿病ってどんな病気(内科医師)

4月 2日(火)、16日(火)

糖尿病治療薬の使い方と注意点(薬剤師)

3月 7日(木)、21日(木)

生活習慣を見直してみませんか(看護師)

4月 4日(木)、18日(木)

食事療法を継続するためのコツ(管理栄養士)

3月12日(火)、26日(火)

食事療法を継続するためのコツ(管理栄養士)

4月 9日(火)、23日(火)

運動療法のすすめ(理学療法士)



患者数

1月

入院(1日平均):227.1人

外来(1日平均):426.7人

病床利用率:87.5%

平均在院日数:18.1日



済生会高岡病院は、「院外処方せん」を推進しています。

当院では、厚生労働省が推進する医薬分業の方針に従い、「院外処方せん」の発行を推進しています。また、医療安全推進のために薬剤師が病棟に常駐して、薬剤業務・服薬指導を行っています。

●患者の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします●